



知ればオペラがもっと面白い“フラメンコ講座”を実施

7/16(木)に、川崎・しんゆり芸術祭発アート講座第2弾
オペラ・スクオーラにて、「フラメンコの情熱世界」を
実施いたしました。

オペラ「カルメン」をご鑑賞いただく際に、また教養講座として、
スペイン民族音楽舞踊であるフラメンコの世界を紐解きました。
コロナ禍、3月実施が延期になりましたが、約70名にのぼる多くの
方にご来場いただきました。

【講座内容】

- ・フラメンコはスペイン舞踊の一つ
- ・歌/音楽/踊りで成立つ
- ・かけ声「ハレオ」
- ・日本発信のフラメンコ作品紹介



スライドや映像・実演を交えての講座の様子



カスタネット解説



アイテム紹介



足打ちダンス・パルマ（手拍子）体験で予想外に盛り上がる

とくに日本独自の
フラメンコ 追及が
大変おもしろかった。
参加型で、
足踏み&手拍子も良かった。

スペイン舞踊の種類と違いを初め
て知った。クラシコエスパニョールの
映像が素晴らしかった。

講義も演技も最高！
作品紹介ビデオも
全部を観たかった。

フラメンコの魅力に
ふれ感謝しています。
8月のカルメン
公演がとても楽しみです。

フラメンコは踊りだけではない。
生活から発祥し、現代の姿となっ
たことに感動。奥深い！

とっても
すばらしい内容
先生が美しい！

Q スカートを踏んづけることがありますか？	Q フラメンコとファドの相違点を教えてください。
A はい、あります。 見た目を重視するとスカートはより長い方がいいですが、踊りにくいのが難点です。 すそが長いスカート“バタ・デ・コーラ”などは、自由自在に舞うまでに踏んだり破いたりしながら訓練します。	A フラメンコはスペイン、 ファドはポルトガルの民族音楽(歌謡) それらは、インドからヨーロッパに渡ったジプシーがもたらした文化と各土地の音楽が混じり合い発展しました。 イベリア半島の隣接する国同士、両者に共通する哀愁を感じるのには頷けます。
Q 舞台上踊り手に「オレ！」というタイミングは12拍子のいつですか？	Q カスタネットで腱鞘炎になりませんか？
A 基本的には「いいな！」と感じた瞬間に 言っていればOKです。 ポーズがビシッと決まる、足打ちが盛上がり一気に止まる、歌手が声を長く伸ばした直後など様々な見せ場があります。 そこで“かけ声”が入りましたらサイコーです。	A なることもあります。 カスタネットは手に合うサイズや重さを選ばないと指に負担がかかります。 指を動かしながら踊ることは、脳トレ&アンチエイジング効果も期待できます。

編集後記



『以前だったら、ただ観ていただろう踊りのシーンを、より深く味わえた』
『フラメンコでスペインらしさが伝わった。平舞踊団の存在意義を感じた！』など
たくさんの嬉しいご感想を頂きました。
フラメンコ講座を通じ、オペラ「カルメン」をより深く楽しんでいただけたら大変光栄に
感じます。今後も皆さまが、さらに芸術理解を深められる普及活動に努めます。

スタジオ情報・公演履歴はこちらをご覧ください



ヒラソルフラメンコスタジオ 公式ウェブサイト
www.girasolflamenco.com



ヒラソルフラメンコスタジオ YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/c/girasolflamencopr>





舞踊家目線でレポートします！

2020.8/15-17 テアトロ・ジーリオ・ショウワにて、
コロナ禍、日本初の本格オペラ藤原歌劇団「カルメン」が
復活しました！

その歴史的舞台の振付・出演をさせていただきました。
キャスト全員フェイスシールド着用。
感染防止策により、演出も以前とは大きく変わりました。
オーケストラは舞台上に、合唱は後ろの一段高い雛壇に、
ソリスト・ダンサーは前方エリアに位置しました。

今回、私たち舞踊家は以前（2017年）より、第2幕、第4幕
それぞれ出番が増え、急遽振付をすることとなりました。



平富恵（たいらよしえ）

平富恵スペイン舞踊団主宰

国内外舞台およびNHK教育TV
やグリコCM等で活躍
第1回 CAFコンクール優勝
第43回カンテ デ ラスミナス
国際コンクール準決勝進出
2010年 文化庁芸術祭受賞
2017年河上鈴子スペイン舞踊
賞受賞
2015年より毎年、文化庁主催
文化芸術による子供育成総合
事業」にてフラメンコ団体と
して全国で唯一選出され活動

第4幕アラゴネーゼは、カルメン組曲でも知られる名曲中の名曲。
オーケストラの最初の一音目で振返る。通常、前置きがないためそれは不可能に近いこと
ですが、今回後ろ向きでポーズしたため、舞台奥に位置する指揮者の背中が私の目の前に。
彼女の呼吸を読み、第一音で確実に観客席に振向くことができる。絶好のスタートでした。
アラゴネーゼは好評をいただきました。赤と黒、頭にマンティージャというレースの
ショールをつけ、**ザ・スペイン**を表現しました。



中段・左の写真
©公益財団法人
日本オペラ振興会

歌・音楽・踊りの素晴らしさ！ 舞踊家として、総合舞台芸術のパワーを改めて感じた
最高の舞台でした。場内に響き渡る拍手を、万感の想いで受け止めました。